

2022年7月5日

各位

三菱UFJ信託銀行株式会社

新たなインフラ事業プラットフォームへの出資・参画について

三菱UFJ信託銀行株式会社（取締役社長：長島 巖、以下 当社）は、グローバル・インフラ・マネジメント株式会社（代表取締役：岐部 一誠・土田 博志、以下 G 社）、並びに G 社の株主である東急株式会社（代表取締役社長：高橋 和夫）及びインフロニア・ホールディングス株式会社（代表執行役社長：岐部 一誠）が構築するインフラ事業プラットフォーム（以下 本事業プラットフォーム）へ出資・参画いたしましたので、お知らせいたします。

1. 本事業プラットフォームについて

本件は、PPP(官民連携)や環境エネルギー分野等の近年注目されているインフラ事業領域での、更なる事業展開と国内インフラ資本市場の発展促進を目指すために、アセット・クリエーション・ファンド・シリーズ（以下 ACF）とインカム・ファンド・シリーズ（以下 ICF）という2種類のインフラファンドを含む、新たな事業プラットフォームを構築するものです。

当社は、本事業プラットフォームの趣旨に賛同し、ACF 及び ICF へ出資いたします。

2. 出資・参画の背景と狙い

近年、我が国のインフラ事業分野は、官民連携や再エネ導入の促進等、社会構造の変化に適合していくための政策が数多く繰り出され、そこで生まれる資金需要から、新たな投資機会や安定的キャッシュフローを求める資本市場からも注目されています。

また、インフラ事業特有の側面として、利用者や地域社会等のステークホルダーへの配慮の重要性も高まってきている一方で、埋没している事業化ニーズの存在、求められる事業リスクと提供資金のミスマッチ等が課題となっています。

当社は、インフラ事業への取り組みとして2014年にフロンティア戦略企画部内に専担部署であるインフラビジネス室を立ち上げ、国内各地の太陽光発電事業をはじめとする再生可能エネルギーへの出資及び国内機関投資家のお客さま向けのファンド組成のほか、新たなインフラ事業領域にも取り組んでまいりました。

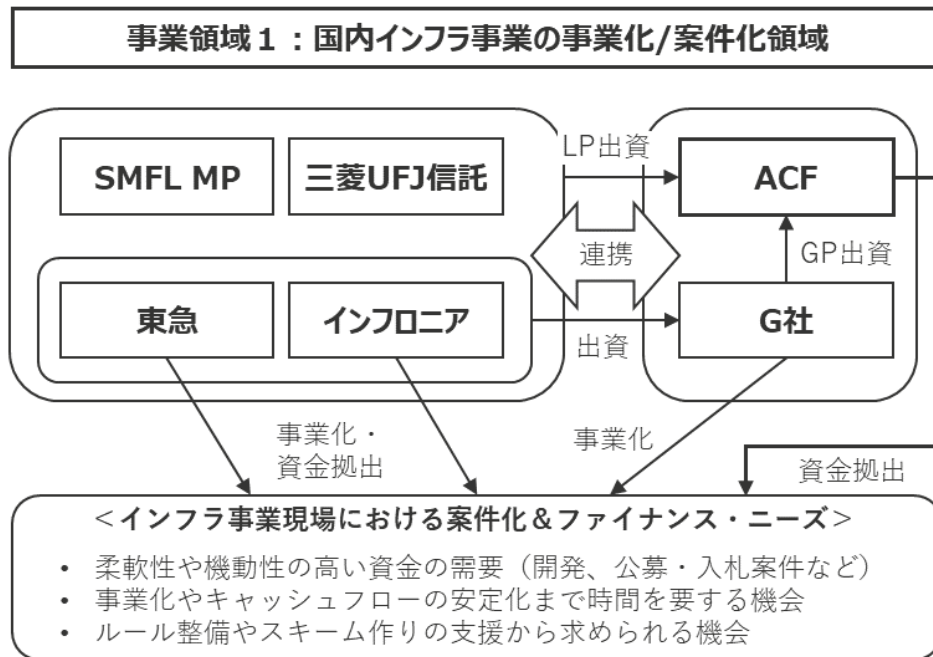
本事業プラットフォームへの出資・参画は、これまでの取り組みを更に発展・拡大させるものと考えております。当社は、引き続きインフラの整備・運営への中長期的な資金の供給に貢献するとともに、国内インフラ投資市場の充実・拡大に寄与してまいります。

以上

ご参考

【本事業プラットフォームの概要】

1. 国内インフラ事業の事業化/案件化領域
＜体制概要＞

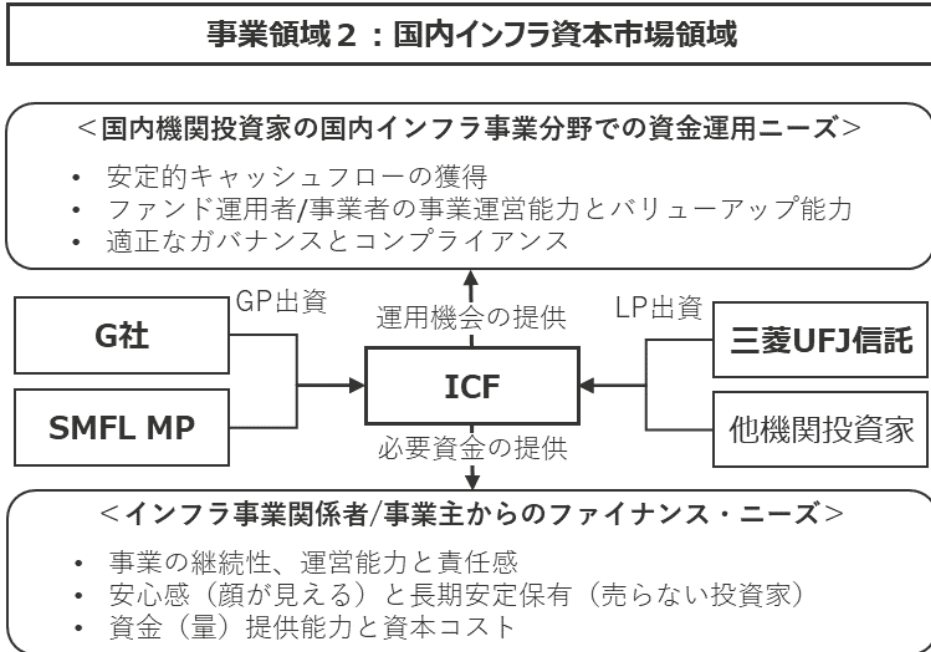


※「SMFL MP」は三井住友ファイナンス&リース株式会社の100%出資子会社であるSMFL みらいパートナーズ株式会社です。

＜ACF ファンド概要＞

名称	Global Infrastructure Management アセット・クリエーション・ファンド1号投資事業有限責任組合
組成日	2022年6月10日
組成総額	101億円
投資対象	各種インフラ分野における開発・未稼働案件や公募案件等、安定的キャッシュフローを生み出すまでに時間を要するプロジェクトや事業、及び「安定的なキャッシュフローを生み出すインフラ資産」を創出又は運営するために必要な事業会社等
無限責任組合員	グローバル・インフラ・マネジメント株式会社（100%）
有限責任組合員	東急株式会社、 インフロニア・ホールディングス株式会社、 SMFL みらいパートナーズ株式会社、 三菱UFJ信託銀行株式会社

2. 国内インフラ資本市場領域
 <体制概要>



※「SMFL MP」は三井住友ファイナンス&リース株式会社の100%出資子会社であるSMFL みらいパートナーズ株式会社です。

<ICF ファンド概要>

名称	Global Infrastructure Management インカム・ファンド1号 投資事業有限責任組合
組成日	2022年4月25日
第1期組成総額	60億円
投資対象	PPPを含む以下のインフラ分野における稼働済案件 ・交通・輸送分野 ・観光・文教・エンターテインメント ・地域ユーティリティサービス分野 ・環境・エネルギー分野
無限責任組合員	グローバル・インフラ・マネジメント株式会社（50%）、 SMFL みらいパートナーズ株式会社（50%）
有限責任組合員	三菱UFJ信託銀行株式会社、 ほか国内機関投資家（地方金融機関及び事業会社等）